

進路支援部だより



群馬県立あさひ特別支援学校

2025.3.10(月)

第13号

今年度の進路状況 ～全学部の状況～

小6の8名、中3の9名、高3の8名が、それぞれの学部を巣立ち、次のステージへと進んでいきます。新たな場所・世界で、それぞれのよさを発揮して活躍してほしいと願っています。健康で幸せな生活が送れますように。児童生徒の進路先は、以下のとおりです。

所属	進路先
本校小学部6年生(8名)	群馬県立あさひ特別支援学校中学部に進学(8名)

所属	進路先
本校中学部3年生(9名)	群馬県立あさひ特別支援学校高等部に進学(9名)

【高等部3年生(8名)】

分類	進路先	人数
企業就労	株式会社 ミツバ	1名
就労継続支援B型	ライフ	1名
生活介護	桐生みやま園 なるかみ寮	1名
	多機能型事業所 おひさま	1名
	HALO-りんく-(他、居宅サービス利用)	1名
生活介護(併用)	障害者デイサービス オペラ・HALO-りんく-	1名
施設入所(療養介護)	両毛整肢療護園	2名
合計		8名

※上記の進路状況(進路支援部だより第13号)は、配付されている『進路の手引き』の、高等部卒業生の進路状況(年度別進路状況)と合わせて保管されるとよいかと思います。

☆『ちょっといい話』☆

夏に遡ります。生活介護を希望する生徒の進路で、学校も保護者もあちこち当たってもうまくいかず、困っていました。そんな折りに、高等部で下の学年の保護者の方から「伊勢崎の放デイで、生活介護の新規起ち上げがあるらしい!!」と、素早く情報を寄せ

てくださった方がいました。まさに「渡りに船」でした!! すぐに放デイとコンタクトをとり、開所前から管理者の方に相談に乗っていただきました。そして、こうして進路が拓けました。その事業所は、上の表にある「HALO-りんく-」です。

今回、保護者の方からの情報に救われた高3生がいます。情報提供をしてくださった方に、改めて御礼を申し上げ、本便りでも紹介させていただきます。何かよい情報がありましたら、担任を通じてお寄せいただくと助かります。

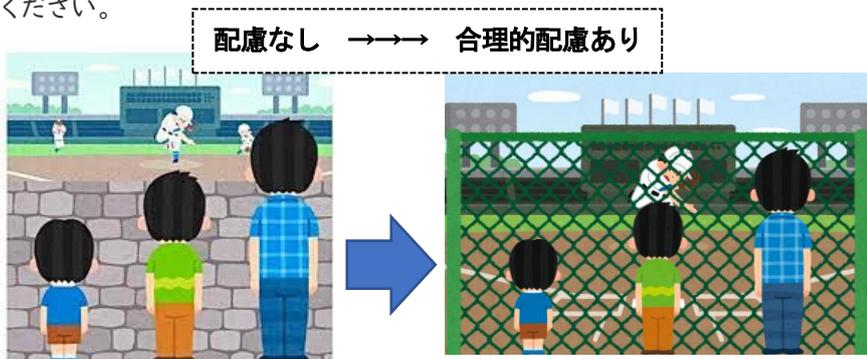


☆『合理的配慮』のお話 ～合意的配慮～ ☆

障害のある方の人権が障害のない方と同じように保障され、教育や就業、社会生活に平等に参加できるよう、それぞれの障害特性や困り事に合わせておこなわれる配慮が求められています。そのことが『合理的配慮』なのですが、**分かりやすく言うと、『不便さを解消し、暮らしやすくする・働きやすくするための配慮』**ということになります。

現在は「改正障害者差別解消法」(2024年4月1日施行)により、事業者に対し『合理的配慮の提供』が義務付けられています。『合理的配慮の提供』において大切なことは、障害のある人と事業者とが対話を重ね、共に解決策を導き出すことです。つまり、一方的に提供されたり要求したりすることではないということです。そんなことを踏まえると、

『合理的配慮』は『**合意的**配慮』とも考えられます。合理的配慮について詳しく知りたい方は、次のQRコードから内閣府より示された資料を御覧ください。



環境を変えれば(塀⇒フェンス)、ハンディキャップは生じない



B型作業所トレイルワークス(保険外リハビリ施設併設) 令和6年10月開所

所在地: 栃木県足利市八幡町 511-1 (野州山辺駅前) TEL: 0284-64-8164 LINE: @868xrux

特長: 就労継続支援施設として就労サービスの提供による就労スキルの向上のみならず、身体機能も考慮したアプローチを提供することでステップアップを図る。PT 4名在籍。送迎は広範囲

作業: PC関連(基礎的パソコンスキル・動画編集スキル、記事、デザイン作成等)、軽作業(垢すりタオルたたみ、シール貼り等)、施設外就労もあり ※施設はバリアフリー



<年度の終わりに>

今年度も「進路支援部だより」等を通じて情報発信に努めてきました。手作り感満載の便りですが、読んでくださりありがとうございました。過日の学校評価で「キャリア発達・キャリア教育」につ

いて『分からない』という回答が6.5%ありました。次年度は、この点も踏まえて進路情報を発信していきたいと思

